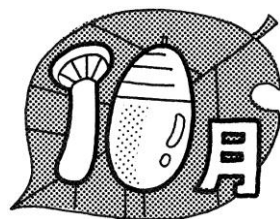


図書館だより



津市立南が丘小学校

平成28年10月

秋といえば…読書

空気も澄んで秋が深まりきもちのよい季節になりましたね。

秋といえば…「読書」ですね。読書は、決まった季節にするものではなく、年中するものでもないでしょう。「いつだって読書日和（今年の読書週間標語です）」本との出会いは、人それぞれです。

「読書の秋」と言われる一つの理由に、「秋は過ごしやすく、何事にも集中できるから」があるとも言われます。本を読むのが苦手・・・というお友だちもぜひ図書室に来てみてください。ゆったりとした気持ちで本をひらき、お話の世界を旅してみましょう。



ハロウィンを知っていますか

ハロウィンは、キリスト教の「万聖節」の前夜祭です。万聖節は亡き聖人たちを祭るカトリックの行事です。子どもたちはそれぞれおばけの格好をして、近所の家々のドアをたたき「Trick or Treat?」（お菓子をくれないとイタズラしちゃうぞ）と言ってお菓子をねだるのです。

「ハロウィンのランプ」



「きょうはハロウィン」

「ハロウィーンってなあに！」

図書室にもハロウィンに関する本があります。
読んでみてね。（一部を紹介しました）



読書週間 10/27~11/9

終戦の2年後の1947（昭和22）年、まだ戦争の傷あとが日本中のあちこちに残っているとき、「読書の力によって、平和な文化国家を創ろう」と、出版社・取次会社・書店と図書館が力をあわせ、そして新聞や放送のマスコミも一緒になり、第1回「読書週間」が開かれました。

第1回「読書週間」は11月17日から23日でした。これはアメリカの「チルドレンズ・ブック・ウィーク」が11月16日から1週間であるのにならったものです。各地で講演会や本に関する展示会が開かれたり、読書運動を紹介する番組が作られました。いまの10月27日から11月9日（文化の日をはさんで2週間）になったのは、第2回からです。

それから60年以上が過ぎ、「読書週間」は日本中に広がり、日本は世界のなかでも特に「本を読む国民」の国となりました。

今年の「読書週間」が、みなさん一人ひとりに読書のすばらしさを知ってもらおうきっかけとなることを願っています。



【「読書週間」の紹介より】

この「読書週間」に合わせて、南が丘小学校でも、11/1~11/9に『朝の10分間読書』を実施します。毎日、自分の読みたい本を準備しましょう。

一日の始まりに読書を行い、落ち着いた態度を育むとともに、落ち着いた雰囲気の中、授業に取り組めるようにしていきたいと思います。